



発行所
株式会社北都新聞社
〒098-0502
名寄市風連町北栄町146-1
☎ 01655-3-3111
FAX 01655-3-4031

Eメール
ownstyle@lily.ocn.ne.jp

道と連携し沿線議論

JR宗谷線問題 加藤「スピード感持って進める」

【名寄】第1回定例市議会は9日午後、一般質問を続行した。市はJR宗谷本線問題について、道と連携し、沿線での議論を深めた上でJR北海道との地域協議を行う意向を示した。佐久間誠氏(市民連合・凜風会)に答えた。

加藤剛土市長は「道のワーキングチームが一定の結論を出した」と答えた。同氏はほかに有害鳥獣駆除対策の強化を求め、エゾシカの箱わなに対する市の援助や、近年急増するアライグマ駆除の報奨金新設を提案した。

川田弘志経済部長は「シカの箱わなは、くりわなに比べ、取り扱いが安易だが、設置場所の確保、捕獲までの管理に努力が必要。今後有害鳥獣被害防止対策協議会で有効性を研究する。アライグマは農地周辺や牛舎に箱わなを設置し捕獲することが有効で、農業者が駆除に取り組めるように防除従事者講習会を開催するとともに、貸し出し用箱わなを準備し、対応していきたい。報奨金新設は現時点で考えていない」と答えた。

川田経済部長は「現状や課題について関係機関、団体の聞き取りや、農業者対象のアンケートで将来の経営意向、後継者の確保状況、今後の施策で期待されるものを集約した。市内全域17カ所で地域懇談会を開催し、直接聞き取りも行った。特徴的な意見では、後継者が決まっているのは約25%だったことや、繁忙期における労働力不足、将来的に農地集積が限界を迎える不安などの課題が出された」と説明した。

同氏は小中学校のスキー授業の実施状況や、児童生徒の安全を確保する指導体制を質問。小川勇人教育部長は「市内の小中学校で、後継者の確保状況、今後は年12時間程度で、上川管内は年10時間が多い中、適当と考えている。個に応じた指導の充実が課題で、外部指導者の積極的な活用で指導体制を整え、児童生徒が安全で楽しくスキー技能を身に付けるよう努める」と答えた。

斜面を楽に上ることができるスノーエスカレーターを導入に水間剛営業戦略室長は「実物を見てから庁内、振興公社で議題として検討したい」と答えた。

山田典幸氏(市政クラブ・新緑風会)は、次市農業・農村振興計画の基本的な考えや、農業者の意見の反映について質問。

道北一の炭酸鉱泉
五味温泉
01655-43311

斜面を楽に上ることができるスノーエスカレーターを導入に水間剛営業戦略室長は「実物を見てから庁内、振興公社で議題として検討したい」と答えた。(吉永雅人)